



ロータリーは世界をつなぐ

RI会長 :マーク・ダニエル・マローニー(米国) 地区ガバナー: 古瀬俱之 (出雲中央RC)
 会長 : 坂本高司 幹事 : 田中康裕 雑誌・会報 : 杉村忠輔

【第1484回例会次第(2019年9月第3回)】

日時:2019年9月30日(月) 18:30～

会場:ロテルフレール

〈9月〉基本的教育と識字率向上月間

1. 開会点鐘

2. 「それこそロータリー」斉唱

3. 会長挨拶

4. SAA報告

5. 幹事報告

A. 例会変更のお知らせ

米子東RC…10/2(水)休会	なし
境港RC…10/15(火)休会	なし
米子中央RC…10/17(木)休会	なし
米子RC…10/18(金)休会	なし
境港RC…10/22(火)休会	なし
米子東RC…10/23(水)休会	なし
米子中央RC…10/24(木)休会	なし

B. その他

6. 委員会報告

A. 親睦・出席委員会

出席報告・事業所創立記念日・スマイル発表

B. その他

7. 閉会点鐘

18:45	懇親会開始 乾杯
19:35	アトラクション 利きワイン大会
20:10	中締め 手に手つないで
20:20	閉会

【第1483回例会記録(2019年9月第2回)】

日時:2019年9月9日(月) 12:30～

会場:ANAクラウンプラザホテル米子

出席率 68名[内免除9名] 中 46名 77.97%

米山BOX 1,601円(累計 22,781円)

スマイル

坂本高司会長…お忙しい中本日は見尾保幸先生に卓話をお願いしました。よろしくお願ひします。

舞立嘉之、高野誠司、清水幸憲、音田猛…2019「木の住まいフェア」米子産業体育館にて10/5(土)開催します。ご来場お待ちしております。

お知らせ

・10/7(月)13:40～	定例理事会 米子商工会議所7F賛助会員室
・10/14(月)	例会休会
・10/18(金)	地区大会懇親ゴルフ大会 いづも大社カントリークラブ
・10/19(土)	地区指導者育成セミナー 出雲ロイヤルホテル
・10/20(日)9:30～	地区大会 出雲市民会館、出雲ドーム
・10/21(月)	例会休会
・10/28(月)19:00～	午輪句会 真誠会セントラルレジデンス

それこそロータリー

- どこで会っても やあと言おうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠いときには 手を振り合おうよ
それこそ ローローロータリー

米子南RC例会運営一覧

日時	第 回例会	内 容	場 所
10月7日(月)12:30～13:30	第1485回 (10月第1例会)	【卓話】米子がいな太鼓創立45周年記念コンサート 「鼓動心響」について 米子がいな太鼓保存会記念コンサート 企画実行委員会 草瀬直美 氏	ANACP ホテル米子
10月28日(月)12:30～13:30	第1486回 (10月第2例会)	【卓話】「ダイバーシティ推進の取り組みについて」 (株)中国銀行常務取締役 大原浩之 氏	ANACP ホテル米子
11月11日(月)12:30～13:30	第1487回 (11月第1例会)	年次総会(次年度理事の承認) ロータリー財団委員会担当	ANACP ホテル米子



【卓話】「生命の選別を考えてみよう」 見尾保幸

◎生命とは(生きている証拠)、細胞＝最小の単位

1) 物質を取り込み、消化し、排泄する 2) 周囲の環境に反応する 3) その数を増やす、形を変える 4) 同じ個体を再生産する

◎生命の始まりは、国民性、宗教観、倫理観、哲学観等により異なる。

- ・日本では、妊娠8週未満: 胚 (embryo) ⇒ 生命と考えない
妊娠8週以降: 胎児 (fetus) ⇒ 生命

但し、妊娠22週未満の胎児死亡は流産、妊娠22週以降は死産(生まれると出生児)

◎出生前スクリーニング

1) 画像評価(超音波所見MRI) 2) トリプルマーカーテスト 3) クアトロテスト ダウン症、18-trisomy、二分脊椎 4) 無侵襲的出生前遺伝学的検査

◎出生前診断

1) 絨毛採取・妊娠12-14週、経腹的／経膈的 2) 羊水穿刺・妊娠14-18週、胎児染色体解析

上記内容をビデオ、写真を使って説明があり最後に先生の所見として

- ・生命は選りすぐり、無数の偶然の集大成、唯一無二であり奇跡の存在である。
- ・生命への向き合い方、生命は奇跡の存在、生命の命運は生命に委ねる、生命に軽重長短はない。
- ・PGTへの向き合い方、PGTはARTを介する、人為的操作への配慮(品質管理)と侵襲性の軽減、PGT-A実施は、胚の帰属者(両親)に委ねる、画一的対応や第三者の恣意的誘導を慎む、十分なカウンセリングと適切な情報提供・開示、厳正かつ適正な症例選択

以上専門的なお話ではありましたが、生命の神秘を考えさせられる卓話でありました。(大谷博幸 記)